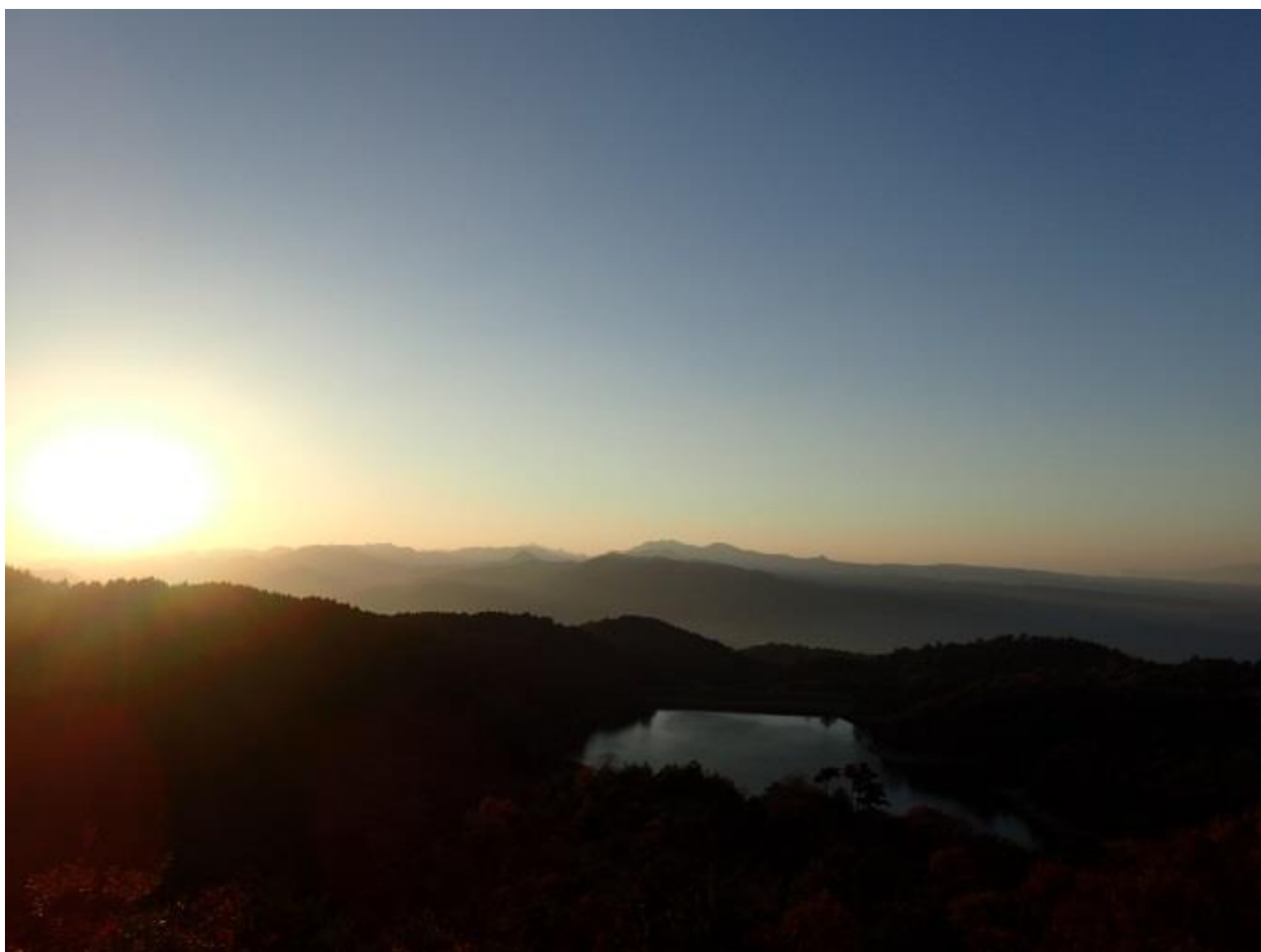


第5章 環境配慮指針

1. 環境配慮指針について
2. 中津本庁管内
3. 三光支所管内
4. 本耶馬溪支所管内
5. 耶馬溪支所管内
6. 山国支所管内



八面山から望む夕日

1. 環境配慮指針について

本計画で取組む環境要素は多岐にわたり、「目指す環境像」の実現には前章までに述べてきた基本施策等が市全体に浸透し、一体的に推進されることが求められます。

しかし、環境資源の改善・保存・活用を中心的に担うのは、多くの場合、その資源が存在する地域住民です。また、旧下毛郡地域においてそうした地域を支援する窓口は各支所単位となることから、環境施策の実施主体と行政との連携を深めるとともに、地域の特性に配慮した活動を推進していくため、主な環境資源や必要な配慮についての指針を支所管内ごとに示すものです。

これは、地域の環境が損なわれている場合には、その改善を目指し、良好な環境資源が存在する場合には、その適切な保全や活用の際に於ける配慮の指針を示すもので、地域環境保全のための施策を展開する際の基本となるとともに、市民や事業者に環境配慮を促す際の基本的な考え方を示す役割も担っています。

環境等に関する概況は下表のとおりで、管内区分図は61ページに示すとおりです。

● 環境等に関する概況 ●

(令和4年度末時点)

	中津本庁管内	三光支所管内	本耶馬溪支所管内
人口(人)	70,271	4,936	2,452
人口密度(人/km ²)	1,264	107	29
高齢化率(%)	28.0	36.3	49.6
汚水処理人口普及率(%)	82.0	98.8	63.1
主な自然資源	中津干潟 中津平野のため池群 ベッコウトンボ生息地 御澄池のハンノキ林	八面山 田口のイチイガシ林 長谷寺境内林 鮎帰りの滝	本耶馬溪、競秀峰 高平のイワシデ林 鹿嵐山の自然林 洞鳴瀑布
主な文化的景観資源	薦神社 福澤諭吉旧居 筑紫亭	箭山神社 長谷寺 臼木古墳群	青の洞門 羅漢寺・古羅漢 耶馬溪橋

2

	耶馬溪支所管内	山国支所管内
人口(人)	3,197	1,961
人口密度(人/km ²)	17	16
高齢化率(%)	52.6	55.4
汚水処理人口普及率(%)	73.1	75.1
主な自然資源	深耶馬溪 一目八景 裏耶馬溪 中摩殿畑山のブナ林	奥耶馬溪 猿飛千壺峡、魔林峡 英彦山・犬ヶ岳の自然林 中摩殿畑山のブナ林
主な文化的景観資源	平田集落 馬溪橋 長岩城址	神尾家住宅 念仏橋 一ツ戸洞門

高齢化率：65歳以上人口の割合

汚水処理人口普及率：生活排水処理人口（公共下水道、農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽）/計画処理区域内人口×100

● 管内区分図 ●



2. 中津本庁管内

◆環境の現状と課題

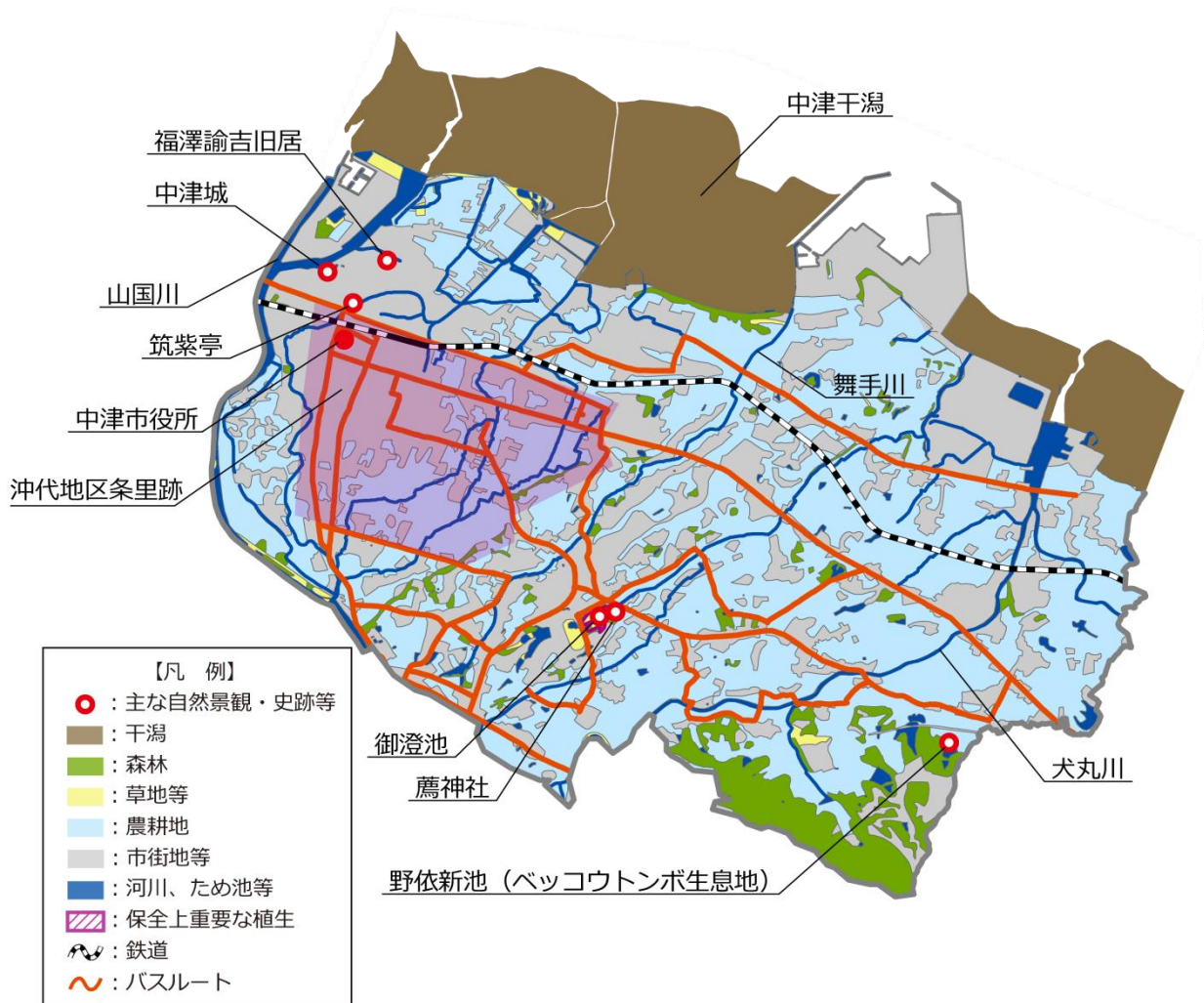
中津本庁管内は、中津藩の城下町として発展した地域であり、中津城を中心とした町割りが残るなど、城下町の風情を残しています。また、本地域では、生活環境の整備により住宅の開発が進んでいますが、農耕地も残されており、北西部には田園風景が広がっています。

本管内の北東部に広がる中津干潟には、絶滅危惧種のズグロカモメが越冬し、春秋の渡りの時期には多くのシギやチドリがやってきます。また、生きた化石といわれるカブトガニや、絶滅が心配されるアオギス、ナメクジウオなどの生息地となっています。

本管内の污水处理人口普及率（82.0%）は、本市内では比較的高いものの、全国（令和4年度：92.9%）、大分県（令和4年度：81.8%）に比べると低い状況です。

本管内では、歴史・文化・生活・自然といった景観を構成する要素の調和を図ること、中津干潟をはじめとする貴重な野生生物の生育・生息環境を保全すること、污水处理人口普及率（82.0%）のさらなる向上といった、環境に関する課題がみられます。

● 中津本庁管内の環境概要図 ●



◆目標

歴史環境・生活環境・自然環境の調和

◆環境配慮指針

【基本目標1：自然共生社会の構築】

- 中津干潟を保全します。
- 中津平野のため池群、ベッコウトンボ生息地、御澄池のハンノキ林などの重要な自然資源を保全します。

【基本目標2：脱炭素社会・循環型社会の構築】

- 施設屋上を利用した太陽光発電設備の設置など、都市部に適した再生可能エネルギーの利用に努めます。
- 家庭・事業所における省エネ活動を促進します。
- 家庭ごみ・事業ごみの排出抑制に努めます。

【基本目標3：生活環境の保全】

- 合併処理浄化槽等の普及を促進し、汚水処理人口普及率を向上させます。
- 国道10号などの幹線道路沿いの自動車騒音抑制対策を推進します。
- 歴史的景観・文化的景観・生活景観・自然景観の調和に努めます。

【基本目標4：環境保全のための人・組織づくりの推進】

- 地域住民や市民団体との協働による市街地の美化活動を推進します。
- 地域住民や市民団体と山間地域の交流の機会創出に努めます。
- 中津干潟などの自然環境を活用した環境学習を推進します。



中津干潟



中津市総合体育館の太陽光発電

3. 三光支所管内

◆環境の現状と課題

三光支所管内では、八面山や田口のイチイガシ林といった自然環境と中津本庁管内の間に農耕地が広がり、そこで、米・麦・大豆の生産が行われています。また、地域内には、農業用水や生物の生育・生息の場として重要なため池が点在しています。

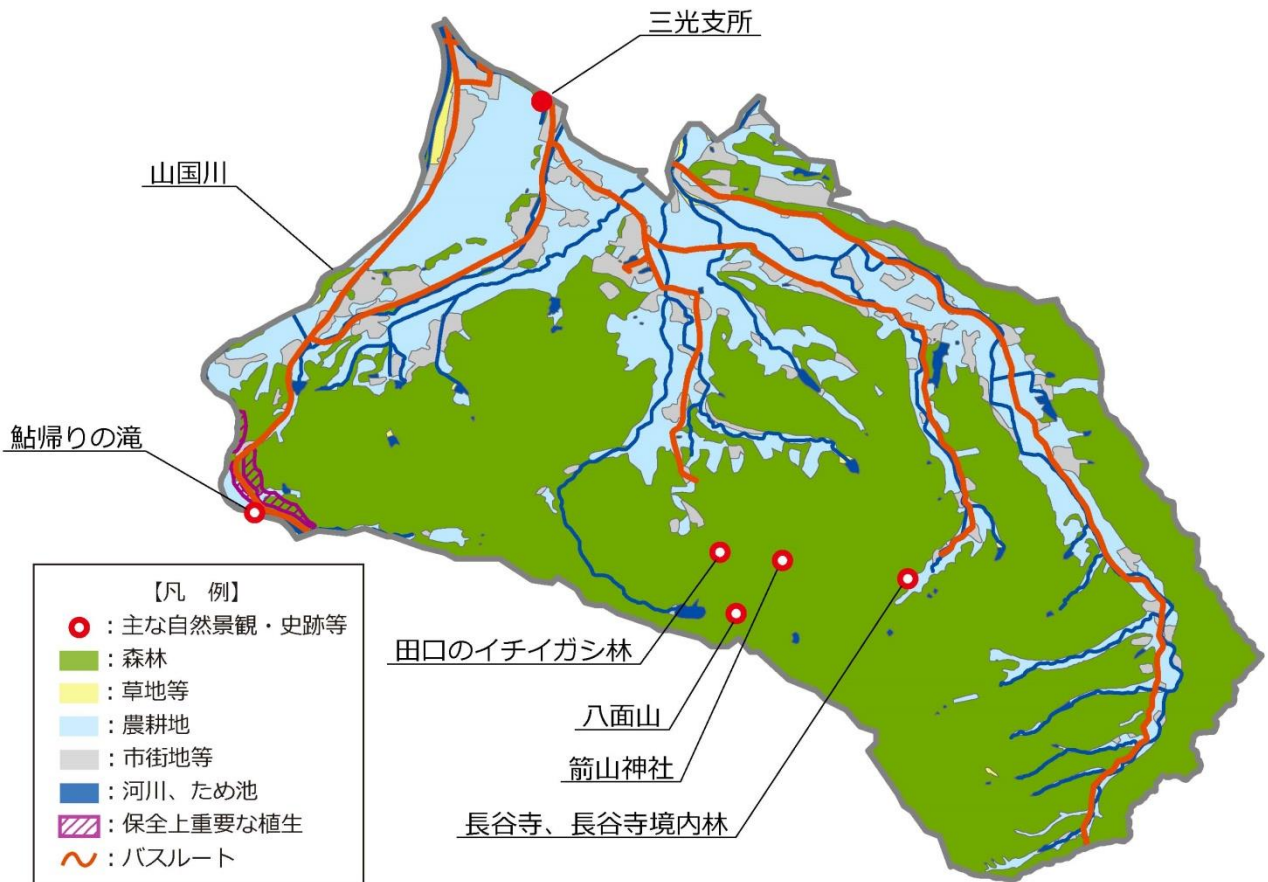
このような、原始的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、草原などで構成される地域を里地里山と呼びます。里地里山は、特有の生物の生息・生育環境として、また、食料や木材など自然資源の供給、良好な景観、文化の伝承の観点からも重要な地域です。

水環境については、本管内の汚水処理人口普及率は98.8%と本市内で最も高い状況です。

本管内の環境は、農林業などに伴うさまざまな人間の働きかけを通じて環境が形成・維持されてきたものですが、今後、過疎化や高齢化などにより人の働きかけが減少すると、景観の荒廃や里山特有の生物の消失など、生物多様性の劣化が進行するおそれがあります。

このため、本管内では、食料供給や生物の生育・生息の場としての機能、また、里地里山特有の景観をいかに保全するかが課題です。

● 三光支所管内の環境概要図 ●



◆目標

里地里山の保全活用

◆環境配慮指針

【基本目標1：自然共生社会の構築】

- 里地里山の役割・重要性の周知に努めます。
- 草地、ため池、人工林の適正な管理を支援します。
- 外来生物の防除（新たな侵入の防止、既に侵入している外来種の駆除）に努めます。
- 荒廃農地の増加防止と復田に努めます。
- シカやイノシシなどの野生鳥獣の適正管理に努めます。

【基本目標2：脱炭素社会・循環型社会の構築】

- 自然環境や地域景観に配慮した再生可能エネルギーの導入を推進します。
- 道路わきのポイ捨て防止、山林への不法投棄防止に取り組みます。

【基本目標3：生活環境の保全】

- 荒廃農地の増加などによる農村景観の悪化防止に努めます。
- 施設建設・土地開発の際は、里地里山の景観に配慮するよう誘導します。
- 河川の水質改善に努めます。

【基本目標4：環境保全のための人・組織づくりの推進】

- 農業体験など、里地里山の自然を活用した自然体験を推進します。
- 里地里山の管理の担い手確保に努めます。
- 三光コスモス祭りなど、住民の自主的な環境保全活動を支援します。



麦畑



八面山からの眺望

4. 本耶馬溪支所管内

◆環境の現状と課題

本耶馬溪支所管内の北部には山国川が流れ、その支流として跡田川、屋形川などの河川がみられます。これら河川沿いには谷底平野が形成され、主に水田などの農耕地、住宅地として利用されていますが、このような土地利用は河川沿いに限られ、地域の大部分は森林に覆われています。

本管内には、耶馬溪のほか、鹿嵐山の自然林、高平のイワシデ林、洞鳴瀑布などの貴重な自然がみられ、ニホンザルやブチサンショウウオ、オヤニラミなどの動物、イワシデ、コバノチョウセンエノキ、イワヒバなどの植物がみられます。

また、本管内には、青の洞門や羅漢寺、耶馬溪橋などの貴重な文化財も多くみられます。

河川の水質については、比較的良好な水準を維持していますが、未処理で流される生活排水も多く、合併処理浄化槽のさらなる普及が必要です。

本管内では、上記のようなすぐれた自然や景観資源をいかに保全するか、また、荒廃農地の増加や、シカやイノシシの増加による植生被害・農林業被害の増加、河川流量の減少、低い污水处理人口普及率（63.1%）といった問題点をいかに改善するか、といった環境に関する課題がみられます。

● 本耶馬溪支所管内の環境概要図 ●



◆目標

耶馬溪など固有の自然及び景観の保全活用

◆環境配慮指針

【基本目標1：自然共生社会の構築】

- 耶馬溪の自然を保全します。
- 鹿嵐山の自然林、高平のイワシデ林などの重要な植物群落を保全します。
- 河川の生き物を保全するため、瀬・淵など河川に特有の構造や水辺の植生の維持と再生に努めるとともに、生き物が行き来しやすい魚道の設置・改良に努めます。
- 森林経営計画に基づく計画的な森林施業により森林整備を推進します。
- 山国川水系の河川流量の維持・回復に努めます。
- 荒廃農地の増加防止と復田に努めます。
- シカやイノシシなどの野生鳥獣の適正管理に努めます。

【基本目標2：脱炭素社会・循環型社会の構築】

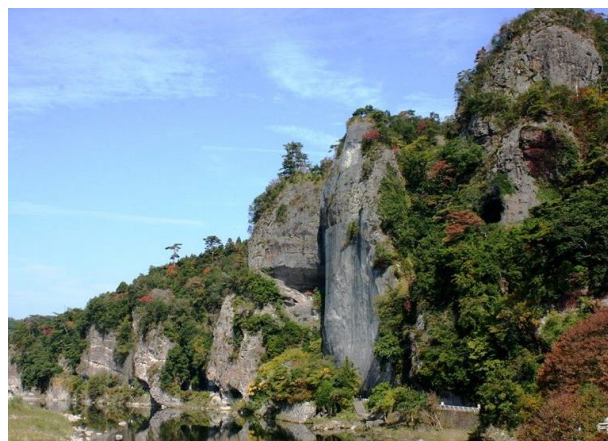
- メイプル耶馬サイクリングロードを活用した低炭素な観光を推進します。
- 山間部や河川沿いにおける不法投棄対策に努めます。

【基本目標3：生活環境の保全】

- 合併処理浄化槽等の普及を促進し、汚水処理人口普及率を向上させます。
- 国道212号などの幹線道路沿いの自動車騒音抑制対策を推進します。
- 青の洞門や羅漢寺、耶馬溪橋などの文化的景観の保全に努めます。

【基本目標4：環境保全のための人・組織づくりの推進】

- 山国川、耶馬溪などの地域の恵まれた環境を生かした環境学習を推進します。
- 地域住民の高齢化等、社会環境の変化に配慮しつつ、地域住民や市民団体が環境保全活動に参加しやすい環境を整備します。
- 当該管内への移住、交流人口の増大の促進を通じて、環境保全のための人・組織づくりの基盤を確保します。



青の洞門

(提供元：一般社団法人 中津耶馬溪観光協会)

5. 耶馬溪支所管内

◆環境の現状と課題

耶馬溪支所管内の中央部を山国川が流れ、周辺部から中央部にかけては、山移川などの山国川の支流が流れています。これら河川沿いには谷底平野が形成され、主に水田などの農耕地、住宅地として利用されていますが、このような土地利用は河川沿いに限られ、大部分は森林に覆われています。

本管内には、裏耶馬溪、深耶馬溪、一目八景のほか、犬ヶ岳の自然林、中摩殿畑山のブナ林などの貴重な自然がみられ、県指定希少野生動植物のクロシジミ（シジミチョウ科）、ヒゴタイ（キク科）が確認されています。

本管内にある津民川河川プールは、自然の河川を利用したプールで、夏には水辺のふれあいの場として多くの人に利用されています。

また、本管内には、平田集落、馬溪橋、長岩城址などの貴重な文化財もみられます。

本管内では、上記のようなすぐれた自然や景観資源をいかに保全するか、また、過疎化・高齢化による農地・森林の管理不足、シカやイノシシによる植生被害・農林業被害の増加、大雨による水害、汚水処理人口普及率（73.1%）の向上といった問題点をいかに改善するか、といった環境に関する課題がみられます。

● 耶馬溪支所管内の環境概要図 ●



◆目標

耶馬日田英彦山国定公園など固有の自然及び景観の保全活用

◆環境配慮指針

【基本目標1：自然共生社会の構築】

- 犬ヶ岳の自然林、中摩殿畑山のブナ林などの原生林を保全します。
- 森林経営計画に基づく計画的な森林施業により森林整備を推進します。
- 河川の生き物を保全するため、瀬・淵など河川に特有の構造や水辺の植生の維持と再生に努めるとともに、生き物が行き来しやすい魚道の設置・改良に努めます。
- 荒廃農地の増加防止と復田に努めます。
- シカやイノシシなどの野生鳥獣の適正管理に努めます。

【基本目標2：脱炭素社会・循環型社会の構築】

- メイプル耶馬サイクリングロードを活用した低炭素な観光を推進します。
- 森林の適正管理による森林吸収源対策を推進します。
- 災害リスクに関する情報提供を行い、市民の迅速な避難行動を促します。
- 森林や農地の保全、適正な管理により、水源かん養機能の維持・向上を図り、洪水や土砂災害の発生防止、軽減に努めます。
- 山間部や河川沿いにおける不法投棄対策に努めます。

【基本目標3：生活環境の保全】

- 合併処理浄化槽等の普及を促進し、汚水処理人口普及率を向上させます。
- 馬溪橋や平田集落などの文化的景観の保全に努めます。

【基本目標4：環境保全のための人・組織づくりの推進】

- 山国川、耶馬溪などの恵まれた環境を生かした環境学習を推進します。
- 地域住民の高齢化等、社会環境の変化に配慮しつつ、地域住民や市民団体が環境保全活動に参加しやすい環境を整備します。



馬溪橋



耶馬溪サイクリングターミナル

6. 山国支所管内

◆環境の現状と課題

山国支所管内は山国川の源流域で、全域が耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。本管内では、奥耶馬溪のほか、英彦山・犬ヶ岳の自然林、中摩殿畑山のブナ林などの原生林や、猿飛千壺峡、魔林峡などの独特の河川景観を見ることができます。また、本管内には、絶滅危惧種のテングコウモリ（ヒナコウモリ）、県指定希少野生動植物のヒメユリ（ユリ科）が確認されています。

本管内にある山国川源流河川プールは、自然の河川を利用したプールで、夏には水辺のふれあいの場として多くの人に利用されています。

また、本管内には、神尾家住宅、念仏橋、一ツ戸洞門などの貴重な文化財も多くみられます。

本管内では、上記のようなすぐれた自然や景観資源をいかに保全するか、また、過疎化・高齢化による農地・森林の管理不足、シカやイノシシによる植生被害・農林業被害の増加、大雨による水害、不法投棄や、汚水処理人口普及率（75.1%）の向上といった環境に関する課題がみられます。

● 山国支所管内の環境概要図 ●



◆目標

山国川源流域環境の保全活用

◆環境配慮指針

【基本目標1：自然共生社会の構築】

- 英彦山・犬ヶ岳の自然林、中摩殿畑山のブナ林などの原生林を保全します。
- 森林経営計画に基づく計画的な森林施業により森林整備を推進します。
- 荒廃農地の増加防止と復田に努めます。
- シカやイノシシなどの野生鳥獣の適正管理に努めます。

【基本目標2：脱炭素社会・循環型社会の構築】

- メイプル耶馬サイクリングロードを活用した低炭素な観光を推進します。
- 森林の適正管理による森林吸収源対策を推進します。
- 災害リスクに関する情報提供を行い、市民の迅速な避難行動を促します。
- 森林や農地の保全、適正な管理により、水源かん養機能の維持・向上を図り、洪水や土砂災害の発生防止、軽減に努めます。
- 山間部や河川沿いにおける不法投棄対策に努めます。

【基本目標3：生活環境の保全】

- 合併処理浄化槽等の普及を促進し、汚水処理人口普及率を向上させます。
- 猿飛千壺峡や魔林峡など、独特の河川景観を保全します。

【基本目標4：環境保全のための人・組織づくりの推進】

- 山国川源流河川プールなど、自然を活用した自然体験を推進します。
- 原生林を環境学習の場として活用し、都市部との交流を促進します。



魔林峡



山国川（山国支所付近）